

ロープと水

2つのマジック?というネタマジックを紹介します。

切ったロープがつながる

何も無いところから水が出る

誕生日会等で少しの余興としてできます。

利用者さんが簡単にできます。



ジャンル 認知症予防 イベントレク その他

身体面への効果 指定されていません

精神面への効果 指定されていません

介護度 要介護度4 所要時間 15分

性別 人数 1人~

道具 (一人当たり予算0円)

ロープ
セロハンテープ
はさみ
割りばし
脱脂綿

注意点・追加ルール

期待効果

タネを覚えることで認知症予防に。

見ている人は楽しくてついつい笑ったり驚いたり

元気になります。

1 長いロープ(以下、Aと呼称)と短いロープ(以下、Bと呼称)を用意します。
Bはセロハンテープで円になるように付けておきましょう。
Aに円にしたBを通しておきます。
手でBが見えないようにAの両端を持って握ります。

2 Aを真ん中で二つに折ります。Bを握ったまま真ん中に移動させます。
Aの真ん中を左手から出すと見せかけて、Bを出します。
Bをハサミで切ってしまいます。
観客にはAが切れたように見えます。

3 Aの端を持って、思いっきり引っ張るとロープはつながったままです。
この時、Bの残骸を左手で持つておくことを忘れずに。

4 何も無いところから水が出るマジック

脱脂綿に水を含ませます。ポタポタ水が落ちないように調節してください。
脱脂綿を左耳の後ろに挟んでください。 他の方に見えないように大きさを調節してください。
割りばしを写真のように両手で握って持ちます。

5

左手を折り曲げて、「左ひじを「水」と言いながら触ってください」と1人をお願いします。

触ってもらっている間に、左手で脱脂綿を取っておきます。

割りばしを握りなおして、脱脂綿を潰すと水が出てきます。

手を拭くときにでも脱脂綿は片づけて証拠隠滅です。

6

宴会芸のようなレクですが、高齢者の皆さん非常に喜んでいただけます。

職員がやって見せて、2回目以降は利用者の方にやらしてもらおうようにしましょう。

覚えることができ、生き生きしているように見えます。